

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

粉体技術の開発を通して社会に貢献する。グローバルな粉体技術連峰の形成により、世界のナンバーワン企業であり続けることを志向

連結ROE
10%以上

売上高営業利益率
10%以上

総還元性向
50%以上

PBR
1倍以上

2 中長期の経営戦略

1. グループシナジーの創出

日本・欧州・米国を主要拠点にグローバル展開。各国市場に合わせた機器開発と現地密着販売戦略、アフターサービスネットワーク拡充を推進。2025年10月末スペイン事業所統合開始予定

3. デファクトスタンダード商品開発

社会課題解決に資する製品開発推進。リチウムイオン電池電極材、rCB、リグニンなど環境価値ある素材の世界標準システム構築。メンテナンスサービス強化で循環型社会実現に貢献

2. DXによるデータ分析と活用

創業100年以上のデータ蓄積を活用。IIoTとの融合によるデジタル・ソリューション提供。HOSOKAWA GEN4開発推進、2026年春のホソカワ受託加工での無人操業実証目標

4. コーポレート・サステナビリティ実践

E・S・Gを企業活動の前提条件と認識。人材育成、働き方改革、ダイバーシティ推進。くるみんマーク取得、ISO27001認証、幹部候補育成施策実施

3 対処すべき課題

① グローバル事業基盤の強化

- ・ヨルダン・タイ・オーストリア・インドへの拠点設立で市場拡大
- ・アフターサービスネットワーク拡充による顧客満足度向上

② 新技術の実用化推進

- ・AI・IoT・Big Dataを粉体処理に組み込むHOSOKAWA GEN4の開発
- ・SFAシステムによる営業効率化

③ マテリアルビジネスの展開

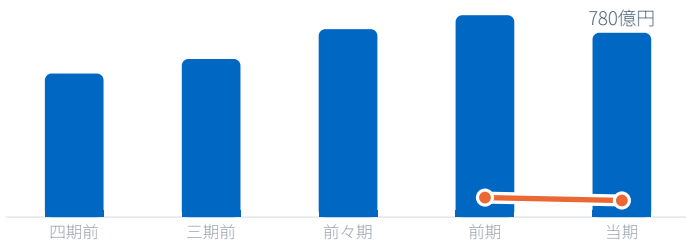
- ・年間1,500万トン規模のカーボンブラック市場でrCB需要対応
- ・リグニンなど環境価値素材の応用範囲拡大

面接で使えるポイント

- ・粉体技術で世界ナンバーワン企業を目指し、新素材マテリアルビジネス展開を進める企業
- ・創業100年以上のデータを活かしDX・IIoT技術でデジタル・ソリューション提供する最先端企業
- ・年間1,500万トン規模のカーボンブラック市場でrCB提供など社会課題解決に貢献

証券コード 6277

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
780億円

営業利益率
9.0%

財務健康度
62点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 55.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
739万円

機械内 68位/208社

平均年齢
42.6歳

機械内 98位/209社

平均勤続
18.1年

機械内 47位/209社

女性管理職
4.3%

機械内 77位/168社

男性育休
81.8%

機械内 92位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ホソカワミクロン(株)【6277】：決算情報

